

要 望 書



令和5年2月
和島地域委員会

《はじめに》

平成18年1月1日、和島村は長岡市に合併し、同時に和島地域委員会が発足しました。地域委員は、和島の各地域から選出し、地域住民の立場から多様な意見を捉え、地域の施策やまちづくりについて検討し、地域市民が安心・安全に暮らせる住みよい地域づくりの協議・提案を行ってきました。

この約17年間で、計48回の委員会を開催し、61件の地域の施策や課題を協議してきました。合併後、地域の人口が4,000人を下回るなど地域づくりを進める中で、地域を取り巻く環境が厳しい現状を迎えて多くの課題が生じてきました。近年日本では、令和元年12月初旬に中国武漢市で新型コロナウイルス感染症が発症し、瞬く間に日本においても感染者が全国に拡大し、今でも終息の目途は立っていない状況です。その間、他県への外出自粛及び事業者に対する休業要請などを行ったことで企業の倒産、失業者の増加により地域市民の生活を脅かしました。長岡市においても、事業やイベントの中止を余儀なくされ、財政面に大きなダメージを与えました。しかし、新型コロナワクチン接種が進み、ようやく感染者も減少し、感染予防を徹底しながら事業やイベントを少しずつ前に進むため再開し始めてきた令和4年度で和島地域委員会が終了することに一抹の寂しさはあります。

和島地域委員会が活動できる最後の検討課題として、コロナ禍で行動制限を余儀なくされていた全国の方々に対し、和島地域の魅力を発信して是非とも和島地域へ観光においでいただくための意見交換会を行いました。

和島地域の魅力といえば、良寛と貞心尼です。良寛さまが晩年を過ごし遷化された地であり、貞心尼との出逢いの地でもあります。令和4年は、貞心尼没後150周年に当たることから、良寛の里美術館では特別展も行われました。地域の宝である良寛さまと貞心尼が和島地域で残した足跡など多くの方から知っていただくために、今何が必要なのかを地域委員会として、取り組み案にまとめました。

令和5年2月

和島地域委員会

委員長 竹内嘉秀

【意見交換会】



《検討経過》

令和4年5月16日【第1回和島地域委員会】

内容：良寛と貞心尼の魅力発信事業について協議。

- (1)良寛と貞心尼の散策道整備
- (2)散策道歌碑解説等作成業務
- (3)良寛と貞心尼の魅力発信業務
- (4)良寛の里美術館展示解説映像等作成業務
- (5)良寛の里美術館等の魅力検討

令和4年9月21日【第2回和島地域委員会】

内容：良寛と貞心尼の魅力発信事業について意見交換会。

- (1)貞心尼没後150周年展「和島は良寛と貞心尼の出逢いの地」視察
- (2)現状と課題、アイデアの意見交換

令和4年12月16日【第3回和島地域委員会】

内容：良寛と貞心尼の魅力発信事業の要望書(案)について協議。

《和島地域の良寛と貞心尼の現状と課題》

1. 周知が足りない

- ・若者への周知がない
- ・地域外から来た住民への周知がない
- ・若者の関心がない

2. 良寛と貞心尼を良く知らない、関係がわからない

- ・良寛は難しい
- ・良寛が良くわからない
- ・貞心尼の歴史が見えない
- ・貞心尼の歴史が分からない
- ・貞心尼の生い立ちが不明
- ・貞心尼の足跡が分からない
- ・貞心尼に関する資料が少ない
- ・貞心尼が和島に来た経路が不明
- ・和島には貞心尼のイメージがない
- ・和島と貞心尼が繋がっていない、関係が薄い

- ・良寛と貞心尼の関係が理解できない
- ・良寛・貞心尼を知っている人が少ない
- ・良寛・貞心尼が誰か(どんな人か)わからない
- ・学校で良寛さまを教えない
- ・昭和20年代の小学校の教科書には良寛さまが載っていた
- ・良寛の書は授業等で書いているが説明がない
- ・世代間の認識において先細りになっている
- ・現代人の生き方の何が良寛とつながるのか不明

3. 書が難しい

- ・展示の書を見てもわからない
- ・書が読めない
- ・書が難しい
- ・興味がないとわからない
- ・書に普段から親しみが無い
- ・書の愛好家以外は良寛に興味をもてない

4. 展示

- ・和文の説明文(書の解説文)が読みにくい
- ・説明(者)がないと展示物の見方がわからない
- ・作品を説明してくれるガイドが必要
- ・展示物だけのためリピーターが来ない
- ・書の展示は一回見れば次に見に来ようとは思わない
- ・展示の仕方が同じ
- ・展示物の価値が良くわからない
- ・ビデオやイベントでの貞心尼の説明が必要
- ・美術館周辺の草が気になる

《今後の良寛と貞心尼の魅力発信事業のアイデア》

子ども

<遊び・イベント>

- ・親子で楽しめるイベントを計画する
- ・子どもと一緒に良寛が遊んだ遊び（手まりつきやダルマさんが転んだ）を行う
- ・短い距離を歩いて考える
- ・「物語」として伝える機会をつくる
- ・かるたを作って大会を開催する
- ・手まりの歌をPRする

<学び>

- ・ポスターや標語をつくる
- ・他地域の学校授業でも良寛・貞心尼を取り上げてもらう
- ・学校で一回は学習で美術館に来る
- ・学校関係者を対象にしたPRを行う ※
- ・子どもの中に良寛・貞心尼の下地作りをする
- ・子どもにもわかりやすい良寛・貞心尼
- ・良寛と貞心尼の事がわかる本を夏休みや冬休みに読ませる
- ・子ども向けマンガを作り学校に配布する
- ・良寛と貞心尼のビデオやマンガを作り配布する
- ・子どもの興味を引くために絵・マンガの教材を作る

<施設・環境>

- ・美術館の近くに遊具など子供たちが遊べる場所を造る
- ・子どもが美術館に来ても楽しめる、マンガなどを活用する

若者

<遊び・イベント>

- ・TikTokで手まり歌をはちすば通りで踊りの動画配信をする
- ・ヒカキン、はじめ社長、フワちゃんなどユーチューバー・インフルエンサーを呼ぶ
- ・良寛の知識をクイズで競い良寛マニア・オタクを発掘する
- ・手作りの手まり教室を開いてほしい ※
- ・手作り手まりのまりつき大会を開いてほしい
- ・良寛の生き方を伝えるイベントを開催する
- ・良寛を身近に考えられるようなイベントを開催する
- ・良寛・貞心尼を語る会を開催する

<施設・環境>

- ・良寛の「竹の子を助ける逸話」を模した家を作る
- ・逸話とその舞台となる場所を結び付ける
- ・美しい景色、建物の写真と詩をユーチューブで発信する
- ・インスタ映えするスポットを用意する
- ・美術館の展示物の説明が必要 ※
- ・わかりやすい現代文の説明書きや興味を引くような絵・マンガやポップを用いる
- ・書・歌を現代文でわかりやすく説明する

<PR>

- ・新潟大学へのアピール
- ・新潟大学書道科へのアピール
- ・良寛の生き方はSDGsにつながる
- ・映えスポットの設置・紹介

高齢者

<遊び・イベント>

- ・良寛の知識をクイズで競い良寛マニア・オタクを発掘する
- ・手作りの手まり(芯がゼンマイの綿)教室を開いてほしい ※
- ・手作り手まりのまりつき大会を開いてほしい
- ・良寛・貞心尼を語る会を開催する
- ・良寛の生き方や考え方を伝えるイベントを開催する
- ・高齢者が講師となり知っている良寛さんを子どもや若者に伝える
- ・良寛と貞心尼がどんな人かわかりやすいマンガ本を作り配布する

<施設・環境>

- ・QRコードでの解説の場合、美術館職員によるQRコード読み込み補助を行う
- ・イヤホンを貸し出し音声での解説をする
- ・展示をわかりやすく

観光客

<遊び・イベント>

- ・旅行会社とタイアップして良寛ツアーを計画する
- ・マニア向けツアーを行う
- ・PRするターゲットを絞る
- ・関心を抱いてもらうイベントを開催する
- ・書道の全国大会を開催する
- ・出雲崎町や燕市(分水)等とタイアップして、良寛ファンに向けた良寛ツアーを計画する

<施設・環境>

- ・美術館等を期間限定で無料開放する
- ・美術館の来場者には和島のお米をプレゼントする
- ・和島地域の施設や名所を回るとお得感が味わえる施策を考える
- ・もてなし家から美術館への観光客呼び込み
- ・美術館からもてなし家への観光客呼び込み
- ・もてなし家から美術館間の観光客往来のため（2施設間に）良寛の道という散歩道を整備する
- ・もてなし家から美術館間の観光客往来のため（2施設間に）詩ののぼり旗を道路沿いに立てる
- ・もてなし家から美術館間の観光客往来のため（2施設間に）歩道灯の設置
- ・もてなし家から美術館間の観光客往来のため、桜の名所となる箇所を作る
- ・詩歌をわかりやすく表示する
- ・良寛さまの人柄・考え方を全面に出す
- ・ソフトクリームやケーキなどを冷凍で販売する

<PR>

- ・良寛と貞心尼の大河ドラマをつくる
- ・良寛と貞心尼の出会いを簡潔にした物語をつくる

共通

<PR>

- ・FM新潟（3万円CM）に広告を出す
- ・はちすば通りに良寛と貞心尼が出会った説明看板を設置する
- ・はちすば通り全体の案内看板を設置（島崎橋付近の旧船着場所、那須与一地藏場所、妙徳寺のお灸、旧池浦医院、中央ハイツの旧映画館など昔あった建物の紹介）
- ・はちすば通り全体の案内看板で紹介している各施設に個別の説明看板を設置する

注：アイデアの中で、※印が付いている事業については、既に実施しているもの

《取り組み案》

早め実施してほしいもの

- ・ 良寛、貞心尼に関するイベント等を開催。
- ・ ラジオ、SNS 等を利用して情報発信。
- ・ 誰にでもわかりやすい良寛、貞心尼の歌の説明文を作成。
- ・ 良寛と子供たちが遊んだことに因んで、良寛の里美術館の近くに遊具など子供たちが遊べる場所を造る。
- ・ インスタ映えスポットを設置し、紹介。
- ・ ソフトクリームの冷凍販売等、新商品の開発。

しっかり検討し、実施してほしいもの

- ・ 子供向けマンガ、動画を作成。
- ・ 書道全国大会等の関心を抱いてもらえる大規模イベントを開催。
- ・ 和島地域に限らず、長岡市内の小学校、中学校、高校、大学に良寛、貞心尼を授業等で紹介。
- ・ 逸話とその舞台となる場所、建物を建設。
- ・ 良寛の里美術館で展示解説の音声ガイドを整備。

《まとめ》

長岡市の計画では、令和4年は、貞心尼の没後150周年に当たることから、良寛と貞心尼の魅力強化・再評価ムーブメントづくりに取り組むスタートの年とし、市内の関連地域はもとより周辺市町とも連携しながら、長岡市の観光コンテンツとして継続的に磨き上げを行い、良寛と貞心尼の出会いから200年目に当たる令和8年度を目途に、長岡の宝「良寛と貞心尼」の新しい価値の創造による事業展開を行う予定です。これを機会に、子どもから高齢者、そして観光客の方まで地域の宝、長岡市の宝である良寛と貞心尼の魅力を十分に知っていただき、しっかりと後世に伝えていく必要があると思います。

令和5年度からは、和島地域コミュニティ推進組織が新たに発足します。今後は、今回まとめた要望書の内容を、和島地域コミュニティ推進組織と和島支所が連携協力して取り組みを進めていく事を期待します。

和島地域委員会

竹内嘉秀 (委員長)
中村義久 (副委員長)
加勢律子
菊地和昭
清野精研
小林教子
小林博
佐々木理江子
関川たづ子
高橋勇一
羽鳥仁一

11名



発行：和島地域委員会
事務局：和島支所地域振興・市民生活課
